

若者のつどい

日時：4月25日(土)予定
会場：札幌市内

農協労働者

北海道単位農業協同組合・農業共済組合
労働組合連合会（道農協労連）機関紙
毎月1日発行 1部30円
札幌市中央区北4条西1丁目 共済ビル3階
Tel. 011 (232) 0676
Fax. 011 (232) 2355
URL: http://donokyororen.jp
E-mail: mail@donokyororen.jp
発行責任者 九村 信吾

2015春闘 今こそ要求実現に向けて行動を

労働組合の必要性が問われる春闘



私たちの生活はもう限界

生活実態訴え要求実現を

今年も春闘の季節がやってきました。私たち労働組合にとって春闘は、自分たちの要求を経営者にぶつける重要な取り組みです。昨年4月の消費税増税、電気料金値上げ以後、厳しさを増すばかりの生活実態を経営者に訴え、ベースアップ要求を勝ち取りましょう。
3名の方に生活実態の本音と春闘への想いを寄せて頂きました。



生活費の削減は限界 一万円ペアを
東川町農協労組 中島 悠治

農協に勤めて4年の生活を実際に考えてくれているのか？景気が回復しているのは大きいですが、現在の国では景気回復や農協改革など言っています。現在の生活では消費税増税や電気料金の値上



仲間の生活実態、実感を大切に
今金町農協労組 荒井 崇御

2015年春闘がいよいよはじまります。以前にくらしいの実態アンケート調査の結果を踏まえ、生活実感では依然として6割近くの仲間が「苦しい」「やや苦しい」と回答していました。私の周りの仲間からも同じような声が聞こえてきます。



生活に「心のゆとり」が必要
清里町農協協職組 高野 亮二

私は3人の子供と妻の5人家族です。子供3人の将来を考えると少しでも貯蓄を

北農中央会と意見交換会を実施

『理事会前の事前協議は当然』

道農協労連は1月30日、北農中央会と意見交換会を実施しました。道農協労連からは、木村正之中央執行委員長、賀山高中央執行委員長、九村信吾書記長、後平朋和中央執行委員、西秀行書記の5名が出席。北農中央会からは中島清浩総務課長、西本範彦経営企画課長、荒岡憲一JA人づくりコンサル課監査士の3名が出席し、道農協労連からの質問事項を基に率直な意見交換を行いました。主だった質問、回答は以下の通りです。

【中央会回答】

就業規則の改定手続きに関して、過半数代表者の意見を聴取し、添付すれば代表者が反対であっても受理される。「不利益変更」についても裁判傾向として最近の要件を広く判断する例が多い。ただ労組のあるところについては、労組との合意である労働協約が就業規則より優先するもので協議して決めるものであり、理事会前に労組と話し合いするのが当然である。



使協定を締結せず実施している。どの様に認識し、対応しているのか。

【中央会回答】

「夏時間」「冬時間」は確かに1年単位の变形労働時間制である。中央会として1年単位

です。今回は私の想いを書きました。同じ様な悩みや将来への不安を抱いている人、心にゆとりを持ちたいと考えている人は私一人だけではないと思います。まずは労組員全員で、要求書という願い、枕で「一筋の光」の夢

を見た。そして、現実の光を皆で分かち合っ

